

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第3回白子中学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年9月5日(木) 16:00~17:15

2 場 所 白子中学校 調理室

3 報告事項

(1) 西館校舎の完成について

西館校舎の見学(普通教室・特別教室・トイレ・エレベーター等の視察)

(2) 全国学力・学習状況調査の結果について学校長より報告

- ・国語、数学ともに全国平均を上回る結果となった。特に数学の伸びは昨年と比べて著しかった。
- ・学校質問紙の調査から、全国平均に比べてICT機器をよく活用していることがわかった。一方、考えがうまく伝わるように資料や文章を工夫したり、発表の工夫等、アウトプットと呼ばれる部分に課題がある。
- ・将来の夢や目標、家庭でのスマートフォン使用のルール、困りごとや不安があるときに先生や大人に相談できるといった内容の回答も全国平均と比べて高かった。
- ・ゲームやSNS、動画視聴等に触れる時間が2時間以上という生徒の割合が半分以上になっている。情報の活用のあり方について、学校や地域、関係機関の方々にご意見をいただきながら今後も家庭と連携して進めていきたい。

4 協議事項

(1) 学校運営協議会の熟議内容：非認知能力「社会性」について

<質疑・意見>

- ・社会の一員として生きる上で求められる力や広く社会に通用する性質、例えばコミュニケーション能力、協調性、マナーやモラルなどが社会性に含まれている。白子中学校の生徒の現状はどうか。
- ・中学生の交通マナーが、依然として気になる。
→1学期も事故が数件あった。走行中にバランスを崩したり、交差点での注意

不足などが主な原因である。学校では、集団下校時の時差下校や1年生1学期の交通安全教室、安全運転の注意喚起など取り組みを進めている。地域の方々の声もしっかりと生徒へ届け、交通マナーの向上を図っていきたい。

・夏休みの行事にたくさんの中学生が参加してくれた。地域の一員として、運営に携わったり、祭りを見に行ったりする中で協調性、コミュニケーション能力などの向上につながったのではないかな。

→多くの行事に生徒が参加していることは大変、良いことである。地域の一員としての自覚を持ち、中学生が社会性を育む良い機会となる様、今後も行事や活動を通して、地域の皆様との連携を深めていきたい。また、生徒の様々な姿が見える機会でもあり、心配な様子や共有すべきことなど、学校へ忌憚なきご意見をいただきたい。

・あいさつができる中学生が増えている。

→本年度の本校の生徒指導の取り組みの一つが『あいさつがしっかりできること』である。生徒も日頃から、意識して取り組んでいると思われる。地域の方からお褒めの言葉をいただいたことを生徒たちにも還元し、さらにあいさつでいっぱいにあふれる学校、中学生になってほしいと思っている。

・子どもたちの社会性を育む以前の問題として、私たち大人のマナーやモラルも問題である。子どもたちは、大人の姿を見ている。

→学校と地域が一体となって取り組む上で、大切なことなので、一人ひとりが意識して生活をしていきたい。

5 次回の学校運営協議会

11月5日(火) 15:30~17:00

白子中学校区合同学校運営協議会を開催 白子地区市民センター

・『非認知能力の育成について』(仮題)

講師 鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課 橋本伸清 様

意見交流 等